



大津

ちはやふる応援隊

映画『ちはやふる』効果で、増える観光客 かるたの聖地・大津の魅力を発信。



左上「ちはやふる応援隊」の結成式 中) 作品中に登場する「近江神宮」 右上) ラッピング電車とちはやふる応援隊長の「おつ光ルくん」 左下) 近江神宮の「キモノ体験」 右下) 「ちっち&みっきーの美味しい料理屋さん」のかるたスイーツ

競技かるたに打ち込む高校生を描いた大人気コミックス『ちはやふる』(作者・末次由紀)は、2016年、広瀬すずさん主演で前編(上の句)、後編(下の句)の2部作として映画化され、大ヒットに。物語の重要な舞台となる近江神宮があり、多くのファンが「聖地巡礼」に訪れる大津市で、「ちはやふる応援隊」が結成された。

県十市十観光協会十民間事業者 映画公開に合わせて結成

「昨年は映画『ちはやふる』を盛り上げようと応援隊を結成されましたね。」

北村 昨年3月の前編(上の句)公開に合わせて、滋賀ロケーションオフィス、大津市、びわ湖大津観光協会の三者を中心に、全国高等学校かるた選手権、名人戦・クイーン戦が開催される近江神宮、映画の撮影が行われた琵琶湖ランドホテル、ロケの食事を提供した飲食店、京阪電鉄などの民間事業者が一緒に「ちはやふる応援隊」を結成しました。ロケ地として地元のみならず、さまざまな方が関わったわけですが、そういった方々と共に「地元もこの映画を応援しています」ということを発信しよう。そして映画をきっかけに「もっと多くの方に、大津に関心を持っていただきたい」という思いでした。2月2日に市内の映画館で結成式を行い、活動を開始しました。

多様なイベントで映画を応援 ロケ地3市で共同イベントを開催

北村 具体的にどんな活動を? 2月26日に小泉徳宏監督らが出席した試写会を市内の映画館で開催しました。またその日から、主人公・綾瀬千早を大きくプリントしたラッピング電

車の運行が京阪電車の石山坂本線で行いました。映画が公開された3月から6月にかけては、近江神宮で原作コミックの複製原画展を、大津パルコ、西武大津店などで映画の写真パネル展を開催。大津市内での撮影でケータリングを行った市内の飲食店が、キャスト・スタッフに提供したのと同じ食事メニューを販売する「ロケ飯&スイーツフェア」も実施しました。

徳永 大津市では以前から作品の舞台である、福井県あわら市、東京都府中市と連携し、原作コミック、アニメを活用した地域のPRや誘客に取り組んできたこともあり、3市が連携し、映画の撮影スポットを紹介するロケ地マップを制作しました。3月には東京でロケ地マップを元にPRを行う映画『ちはやふる』展(上の句)を3市連携で開催しました。

北村 応援隊のメンバーにはそれぞれ異なる得意分野があります。例えば、映画の制作に関するものならば滋賀ロケーションオフィス、地元関係者との調整は大津市やびわ湖大津観光協会というように、各々の良さを生かして、多様な企画が実現できたのだと思います。

千早になったつもりで参詣 映画の影響で参拝者が大幅増

徳永 近江神宮の参拝客は、16年1月から10月までで昨年より10万人多い51万人に達し、特に映画の公開と重なる5月までは、昨年の2倍近くになりました。映画の登場人物と同じように袴姿で境内を散策できる「キモノ体験」の利用者数も、前年の10倍以上に上る人気がありました。

「映画公開が終わっても、『ちはやふる』を活用した地域活性化の取り組みは継続しているのですか?」

徳永 映画公開が終了した6月末で、応援隊の活動は一段落しましたが、コミック、アニメを含め、『ちはやふる』を通じて、大津市を知っていただく新しい動きにつながっています。

あわら市、府中市との連携では、作品ゆかりのスポットを紹介するホーム

ページ「チームちはやふる巡礼サイト」を3市で9月に開設。原作コミックが海外でも人気が高いことを受け、ロケ地マップの英、中、韓、仏、タイ語版も作成し、10月から配布しています。また、映画のDVD発売の機をとらえて、10月に3市で連携した「ちはやふる聖地プロジェクト」を開催しました。

大津市単独でも、「ちはやふる」かるたの聖地in大津」と題し、上の句ウィーク(12月23〜28日)、下の句ウィーク(1月4〜9日)に分け、ファンイベントを開催します。アニメの声優などをゲストに迎えた「京阪ラッピング電車ツアーinちはやふる号」、全国高等学校かるた選手権で販売されていた名物「勸学館カレー」の再現販売、比叡山延暦寺・光永園道大阿闍梨を招いたトークセッション、スタンプラリーなど盛りだくさんの内容です。百人一首の名人戦・クイーン戦がある1月7日にあわせ、イベントを行うことで「かるたの聖地・大津」を多くの方に体験していただきたいと思っています。

市内を巡る楽しみを広げ 観光消費額の拡大を図る

「応援隊の活動を通じて、得たものはありましたか。」

北村 今回の作品を通じて、市町や民

間の垣根を超えて協力し合えた事が大きな成果でした。この経験を元にロケの誘致だけでなく、今後も市町と連携して地元のPRにつながるような活動を続けていきたいです。

今後の展開は? 徳永 大津には百人一首に関わる観光スポットがたくさんあります。いかに市内を周遊していただき、滞在時間を延ばし、観光消費額を上げていくかを考える方々と情報を共有しながら、受け入れ体制を充実させていきたい。『ちはやふる』をきっかけとして、「かるたの聖地大津」をもっと周知していければと思っています。

ちはやふる応援隊
http://www.shiga-location.jp/pickup/chihayafuru/



徳永幸代氏
(とくながさちよ)



北村勘吉氏
(きたむらかんきち)

大津市産業観光部 観光振興課
滋賀ロケーションオフィス